

～適期刈り取りの実施を！～

1 刈り取り ～適期の刈り取りで品質低下防止～

8月下旬以降も高温の日が続き、登熟がかなり早く進むと見られます。

出穂後の日平均気温積算では、8月2日が出穂期の場合は9月8日には950℃に達する予測となります。

また、8月の降水量が平年よりかなり少なく、ほ場によっては葉先や枝梗が枯れてきている場合もあり、ほ場外から見ると登熟が進んでいるように見えるほ場もあります。

ただし、実際の刈取適期は個々のほ場条件（ほ場のぬかり具合、粳数等）で異なるため、粳の熟色を必ず確認して判断してください。

刈取適期の判断目安

①出穂後の積算気温：出穂期翌日から日平均気温を積算した値（表1参照）

早生品種（あきたこまち等）・・・950～1,050℃

中晩生品種（めんこいな等）・・・1,050～1,150℃

②粳の熟色

葉や穂首が緑色であっても粳の黄化程度が90%（黄色＋黄白色の割合）の頃

③枝梗の黄化程度

穂の主軸の上から5番目までの枝梗が黄化した頃

表1 出穂後の積算気温到達日予想

出穂期	950℃	1000℃	1050℃	1100℃	1150℃
	早生品種「あきたこまち」等				
			中晩生品種「めんこいな」等		
8月2日	9月8日	9月11日	9月13日	9月16日	9月19日
8月5日	9月12日	9月15日	9月18日	9月20日	9月23日
8月10日	9月20日	9月23日	9月26日	9月29日	10月2日

※9月5日までは実況値、9月6日以降は平年値で計算

○今後も高温の予報となっていることから、さらに刈取適期が早まることが予想されるため、刈り遅れに注意してください。

○早生品種では積算気温1,100℃を超えると胴割れ米の発生が増加します。刈取適期に注意するほか、収穫後の乾燥・調整においても細心の注意を払ってください。